

令和4年7月29日

一般社団法人 宮城県経営者協会 御中

宮城県高等学校長協会会長  
(宮城県仙台第三高等学校長)

佐々木 克敬



同 就職対策委員会代表幹事  
宮城県高等学校進路指導研究会会長 黒田 賢一  
(宮城県塩釜高等学校長)



令和5年3月新規高等学校卒業者の就職について (お願い)

本県高等学校教育の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新規高等学校卒業予定者の就職につきましては、令和2年に新型コロナウイルス感染症が確認されてから、令和2年度は日程を一ヶ月後ろ倒しとし、昨年度は以前と同様の日程となりました。変更による影響が心配されていたところでしたが、おかげさまをもちまして令和4年3月新規高等学校卒業者の令和4年4月末時点の就職内定状況は99.5% (県高校教育課調べ) となり、前年同期を0.4ポイント上回りました。これも偏に、皆様方の新規高卒者への温かい御理解と多大なる御配慮の賜と心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束せず長期化しており、さらに昨今のロシア・ウクライナ情勢による世界経済への影響により、今後の景気動向はますます不透明なものとなっております。しかし、地域産業の持続的な発展のためには、担い手となる人材の育成・確保は必須であり、新規高卒者への期待は大きいものと認識しております。このような状況を踏まえ、私ども高等学校といたしましては、地域に貢献しようという高い志を持った、心身ともに健全で有為な人材の育成に努めるとともに、早期離職の防止に向けてキャリア教育を充実させ、これまで以上にきめ細かな就職指導に努めるとともに、特別支援学校においては現場実習での技能習得を重視し、卒業後の就労につきましても、これまで同様の御理解と御支援を賜りたいと考えております。

つきましては、厳しい経済情勢ではありますが、令和5年3月の新規高等学校卒業者及び特別支援学校高等部卒業予定者の雇用確保につきまして、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の今後ますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。